

くまもとアートポリスプロジェクト

熊本地震震災ミュージアム中核拠点施設 基本設計公募型プロポーザル

応募期間 | 2019年10月4日 - 2019年12月11日
現地見学会 | 2019年10月15日 / 10月16日

応募要項等は
熊本県庁ホームページに掲載

1 趣旨

震度7の地震が、わずか28時間の間に二度発生した平成28年熊本地震の発災から3年余りが経過する中、本県は国内外からの多くの支援のもと、地震からの復興に向け着実に歩みを進めてきています。今後いつどこで起こるかわからない大規模災害に備え、熊本地震の記憶や経験、教訓を後世に遺し、本県のみならず広く国内外に発信していくことは、熊本地震を経験した我々の責務であると考えています。

このことから、本県では県内各地に広範囲に出現した断層等の震災遺構とともに、熊本地震の痕跡を残す文化・交流施設などの地域の拠点、地域における復興に向けた活動の拠点、地域の魅力を伝える観光施設等を広域的につなぎ、巡る「回廊形式」のフィールドミュージアムとして熊本地震震災ミュージアムの整備を進めています。

この熊本地震震災ミュージアムにおける阿蘇地域の中核拠点として、震災遺構である地表地震断層及び旧東海大学阿蘇校舎1号館に隣接して、展示学習機能、教育機能、交流機能、総合窓口機能を有する施設を整備します。整備にあたっては、熊本地震の被害を遺す象徴的な場所から、被害のありのままの姿や熊本地震から得た教訓、自然の驚異等のさまざまな情報を発信することとし、くまもとアートポリスプロジェクトとして公募型プロポーザルを実施します。

2 プロポーザルの概要

- (1) 名称 熊本地震震災ミュージアム中核拠点施設整備基本設計に係る公募型プロポーザル
- (2) 方法 公募型プロポーザル
- (3) 主催 熊本県
- (4) 事務局 くまもとアートポリス事務局(熊本県土木部建築住宅局建築課内)

3 審査員

- 審査員長 伊東豊雄 (建築家、くまもとアートポリスコミッショナー)
- 審査員 桂英昭 (建築家、くまもとアートポリスアドバイザー)
- 末廣香織 (建築家、くまもとアートポリスアドバイザー、九州大学准教授)
- 曾我部昌史 (建築家、くまもとアートポリスアドバイザー、神奈川大学教授)
- 池辺伸一郎 (学芸員、阿蘇ジオパーク推進協議会事務局長、阿蘇火山博物館館長)
- 柿本竜治 (熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議座長、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター長、熊本大学大学院教授)
- 原山明博 (熊本県知事公室政策審議監)

問合せ先

くまもとアートポリス事務局 〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6-18-1
TEL | 096-333-2537 FAX | 096-384-9820 MAIL | kap@pref.kumamoto.lg.jp